

講義科目名称： 病態生理学

授業コード： 6620000100

英文科目名称： Pathophysiology

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1・2学年	2単位	選択 CNS必修 助産師必修
担当教員			
◎石田和子、石井角保、竈島充			
添付ファイル			

授業種類	【開講】 後期 【授業時間】 30時間 【担当教員】 【氏名】 ◎石田 和子 石井 角保 竈島 充 【所属】 新潟県立看護大学 同上 上越総合病院 【研究室】 317 321 【メールアドレス】 kazukoi@niigata-cn.ac.jp sishii@niigata-cn.sc.jp 【本学の科目区分】 共通基盤分野 【DP1】 【DP2】 【DP3】 【DP4】 【DP5】 【DP6】 ◎
------	--

到達目標	1 高度実践看護師として、ケアとキュアの融合に基づく卓越した実践能力の向上を目指し、対象の治療・療養課程の管理・調整と回復支援に必要な病態生理学の知識を述べることができる。 2 知識を基盤とするエビデンスに基づいたアセスメントを実施することができる。
------	--

授業概要	本科目では、人体の正常な機能が異常をきたし調整能力が破綻して生じる疾病のメカニズムと、身体の状態を理解する。正常な臓器や組織・細胞の機能をもとに、疾患の発症から進行あるいは回復、さらに治療による病像の推移などを理解する。また、地域や臨床で遭遇する頻度の高い疾患の病態生理の理解とエビデンスに基づいたアセスメント能力を高めるために、事例検討とディスカッションを行う。
------	--

授業計画	1 授業内容 授業形態：講義 学修課題：免疫学① 学修内容：基礎疾患の解説および事例検討 備考：石井 2 授業内容 授業形態：講義 学修課題：免疫学② 学修内容：基礎疾患の解説および事例検討 患者の事例を用いてディスカッション式で検討 備考：石井 3 授業内容 授業形態：講義 学修課題：血液疾患① 学修内容：基礎疾患の解説および事例検討 備考：石井 4 授業内容 授業形態：講義 学修課題：血液疾患② 学修内容：基礎疾患の解説および事例検討 患者の事例を用いてディスカッション式で検討 備考：石井 5 授業内容 授業形態：講義 学修課題：神経疾患① 学修内容：基礎疾患の解説および事例検討 備考：石井 6 授業内容 授業形態：講義 学修課題：神経疾患② 学修内容：基礎疾患の解説および事例検討 患者の事例を用いてディスカッション式で検討 備考：石井 7 授業内容 授業形態：講義 学修課題：内分泌・代謝疾患① 学修内容：基礎疾患の解説および事例検討 備考：石井
------	--

	8	<p>授業内容 授業形態：講義 学修課題：内分泌・代謝疾患② 学修内容：基礎疾患の解説および事例検討 患者の事例を用いてディスカッション式で検討</p> <p>備考：石井</p>
	9	<p>授業内容 授業形態：講義 学修課題：呼吸器疾患① 学修内容：基礎疾患の解説および事例検討</p> <p>備考：籠島</p>
	10	<p>授業内容 授業形態：講義 学修課題：呼吸器疾患② 学修内容：基礎疾患の解説および事例検討 患者の事例を用いてディスカッション式で検討</p> <p>備考：籠島</p>
	11	<p>授業内容 授業形態：講義 学修課題：循環器疾患① 学修内容：基礎疾患の解説および事例検討</p> <p>備考：籠島</p>
	12	<p>授業内容 授業形態：講義 学修課題：循環器疾患② 学修内容：基礎疾患の解説および事例検討 患者の事例を用いてディスカッション式で検討</p> <p>備考：籠島</p>
	13	<p>授業内容 授業形態：講義 学修課題：消化器疾患① 学修内容：基礎疾患の解説および事例検討</p> <p>備考：石井</p>
	14	<p>授業内容 授業形態：講義 学修課題：消化器疾患② 学修内容：基礎疾患の解説および事例検討 患者の事例を用いてディスカッション式で検討</p> <p>備考：石井</p>
	15	<p>授業内容 授業形態：講義 学修課題：腎・泌尿器疾患① 学修内容：基礎疾患の解説および事例検討</p> <p>備考：籠島</p>
	16	<p>授業内容 授業形態：講義 学修課題：腎・泌尿器疾患② 学修内容：基礎疾患の解説および事例検討 患者の事例を用いてディスカッション式で検討</p> <p>備考：籠島</p>
	17	<p>授業内容 授業形態：演習 学修課題：複雑な病態を呈する事例の検討 学修内容：各領域の院生による事例を用いたグループ検討を行う。 事前学修：各領域での事例を高度実践看護師の視点で分析し準備をする。</p> <p>備考：石田</p>
事前・事後学習		<p>事前学習：適宜指示する。 事後学習：適宜指示する。</p>
評価方法、評価基準		到達目標に対してレポート50%、出席状況20%、プレゼンテーション及び演習20%、課題分析能力10%を総合的に判断する。課題分析力では、高度実践看護師として高度実践を常に意識して学修しているかを含め評価する。
テキスト		浅野嘉延、吉山直樹編：看護のための臨床病態学 改訂5版，南山堂，2023.
参考図書・資料等		ハマー&マクフィー：疾患の病態生理学：臨床医学入門 原書7版，丸善出版，2019.
受講、課題、資料配布等のルール		プレゼンテーションや事例検討において提示する資料を学生が事前に各自で作成し、人数分の資料を準備する。
教員からのメッセージ		授業に関する質問等がある場合メールアドレスにお問い合わせください。
オフィスアワー		メールによる事前申し込み要